

平成 23 年度(2011 年度) 事業計画書

自 平成 23 年(2011 年)4 月 1 日

至 平成 24 年(2012 年)3 月 31 日

1 PMF2011

(1) テーマ

＜PMF、新しい時代へ II ～ルイジとマーラー～＞

ファビオ・ルイジ氏の 3 年間のコンセプトを「オペラ」「マーラー」「R. シュトラウス」として掲げているが、2011 はマーラー・イヤー(没後 100 年)でもありこのタイトルとする。

(2) 開催期間等

2011 年7月 9 日(土)から 8 月 4 日(木)まで(28 日間)

(3) 参加アーティスト

PMF 芸術監督 ファビオ・ルイジ

客演指揮者 アラン・アルティノグル

ソリスト

トーマス・ハン普森(バリトン)

アヌシ・ニコゴシアン(ヴァイオリン)

指揮者/札幌交響楽団音楽監督 尾高忠明

アラムナイ・プロデューサー/指揮者 ダニエル・マツカワ

アーティストック・アドヴァイザー ペーター・シュミードル

オペレーティング・アドヴァイザー ルイス・ピアヴァ

アシスタント・コンダクター アレクサンダー・ビューロー

オーケストラ

PMF オーケストラ

札幌交響楽団(ホストシティー・オーケストラ)

HBC ジュニアオーケストラ

PMF ファカルティ

東京クワルテット

アルベナ・ダナイローヴァ、ヴァイオリン/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(初)

ラインハルト・クラウス、ヴァイオリン/シュターツカペレ・ドレスデン

セバスティアン・ヘルベルク、ヴィオラ/シュターツカペレ・ドレスデン

フリッツ・ドレシャル、チェロ/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

ミハエル・ブラーデラー、コントラバス/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

カール・ハインツ・シュッツ、フルート/ウィーン交響楽団

セリーヌ・モネ、オーボエ/シュターツカペレ・ドレスデン

ペーター・シュミードル、クラリネット／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
シュテパン・トウルノフスキー、ファゴット／ウィーン交響楽団
ロベルト・ラングバイン、ホルン／シュターツカペレ・ドレスデン
タマシュ・ヴァレンツァイ、トランペット／ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
ニコラ・ノード、トロンボーン／シュターツカペレ・ドレスデン
エルヴィン・ファルク、パーカッション／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(初)
アストリッド・フォン・ブルック、ハープ／シュターツカペレ・ドレスデン
デイヴィッド・チャン、ヴァイオリン／メトロポリタン歌劇場管弦楽団
ステイーヴン・ローズ、ヴァイオリン／クリーヴランド管弦楽団
ダニエル・フォスター、ヴィオラ／ワシントン・ナショナル交響楽団
ラファエル・フィゲロア、チェロ／メトロポリタン歌劇場管弦楽団
ジェフリー・ターナー、コントラバス／ピッツバーグ交響楽団
ステファン・ラグナー・ホスクルドソン、フルート／メトロポリタン歌劇場管弦楽団(初)
ユージン・イゾトフ、オーボエ／シカゴ交響楽団
ステイーヴン・ウィリアムソン、クラリネット／メトロポリタン歌劇場管弦楽団
ダニエル・マツカワ、ファゴット／フィラデルフィア管弦楽団
ウィリアム・カバレロ、ホルン／ピッツバーグ交響楽団
マーク J・イノウエ、トランペット／サンフランシスコ交響楽団
デンソン・ポール・ポラード、トロンボーン／メトロポリタン歌劇場管弦楽団
ティモシー・ジェニス、ティンパニ／ボストン交響楽団
安楽真理子、ハープ／メトロポリタン歌劇場管弦楽団(初)

PMF ピアニスト

赤堀絵里子

沢野智子

山本真平

コラリー・アメジカン、オルガン／札幌コンサートホール Kitara 専属オルガニスト

※ HBC ジュニアオーケストラ

1964 年創立、北海道唯一のジュニアオーケストラ。ジュニアオーケストラとしては日本の草分けのひとつであり、卒団生は札幌交響楽団をはじめ、NHK 交響楽団や九州交響楽団まで、日本中で活躍している。PMF2011 では、ピクニックコンサートにおいて同オーケストラの音楽監督、阿部博光氏とダニエル・マツカワ氏の指揮により PMF 修了生で編成される PMF チェンバー・プレイヤーズと共演する。

2 教育事業

(1) オーケストラ・アカデミー

創設者レナード・バーンスタインの基本的理念であるオーケストラ・アカデミー教育を引き続き実施。全期間、4管編成18型の110名のアカデミーをライブオーディションとレコーディングオーディションにより選抜。会期中は室内楽を学び、3つのプログラムの指導を芸術監督、客演指揮者と教授陣から受け、その成果をPMFオーケストラ演奏会で発表する。

① オーディション

・ ライブオーディション

次の計17都市で実施。アレクサンダー・ビューロー氏、ダニエル・マツカワ氏などのPMFファカルティ及びPMF組織委員会職員が審査員を務め、フィラデルフィアでのオーディションには、芸術監督のファビオ・ルイジ氏も審査員として参加。

(ヨーロッパ) ロンドン、チューリッヒ、ベルリン、ウィーン、パリ

(北米) ニューヨーク、フィラデルフィア、ボストン、クリーヴランド、シカゴ、ボルティモア

(アジア) 札幌、東京、大阪、ソウル、北京、香港

・ レコーディングオーディション

上記17都市での受験が難しい受験者に対し、録音によるオーディションを併せて実施。

・ オーディション結果

(調整中)

② 教育プログラム

3つのプログラム(A、B、C)の指導を芸術監督、客演指揮者及び教授陣から受け、その成果を演奏会で発表する。

・ オーケストラ・リハーサル

セクション練習、全体リハーサル等

・ 室内楽コーチング・リハーサル

グループごとに割り当てられた室内楽曲の練習

・ マスタークラス

楽器ごとの個別指導(楽器により数時間から十数時間程度)

・ 演奏会

成果の発表として、各演奏会で演奏を行う。「3 演奏会事業」の項目を参照。

(2) コンダクティング・アカデミー

1990年の初年度のみ3名の若手指揮者がPMFオーケストラと共にバーンスタインから学んだ。PMFは今、バーンスタインの残したものを再確認する時代であることから、20年ぶりにコンダクティング・アカデミーを実施。4名を映像によるレコーディングオーディションで選抜。芸術監督から指導を受け、演奏会で成果を発表する。

① オーディション

演奏を録画した DVD を郵送により受け付け。締切後、DVD を取りまとめファビオ・ルイジ氏のもとに送付し、審査を依頼。

- ・ オーディション結果
(調整中)

② 教育プログラム

会期中の約 8 日間、芸術監督ファビオ・ルイジ氏からコンダクティング指導を受け、PMF オーケストラとの共演でその成果を発表する。

3 演奏会事業

現時点での演奏会の実施予定は、次のとおり。(都合により変更が生じる場合があります。)

- ・ 7 月 9 日(土) PMF オープニングコンサート(札幌芸術の森・野外ステージ)
PMF 大通公園コンサート I (大通公園西 6 丁目ステージ)
- ・ 7 月 10 日(日) PMF オーケストラ演奏会(札幌コンサートホール Kitara)
PMF 大通公園コンサート II (大通公園西 6 丁目ステージ)
- ・ 7 月 11 日(月) 東京クワルテット演奏会(札幌コンサートホール Kitara)
- ・ 7 月 12 日(火) PMF ファカルティ・リサイタル I (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・ 7 月 13 日(水) PMF ファカルティ・リサイタル II (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・ 7 月 14 日(木) PMF ファカルティ・アンサンブル演奏会 I (札幌コンサートホール Kitara)
- ・ 7 月 15 日(金) 市民ロビーコンサート(札幌市役所 1 階ロビー)
PMF アンサンブル演奏会(札幌市民ギャラリー、北海道立近代美術館、
札幌市東区民センター、北海道立三岸好太郎美術館)
PMF チェンバー・プレイヤーズ演奏会(札幌市清田区民センター)
- ・ 7 月 16 日(土) PMF アンサンブル演奏会(奈井江町文化ホール、函館市芸術ホール、
千歳市民文化センター)
PMF ブラス・アンサンブル演奏会(札幌市立東苗穂小学校)
- ・ 7 月 17 日(日) PMF コンダクティング・アカデミー演奏会(札幌芸術の森・野外ステージ)
- ・ 7 月 19 日(火) PMF アラカルト・コンサート I (札幌市役所ロビー)
- ・ 7 月 20 日(水) PMF アラカルト・コンサート II (札幌市役所ロビー)
- ・ 7 月 21 日(木) PMF アラカルト・コンサート III (札幌市役所ロビー)
- ・ 7 月 22 日(金) PMF アラカルト・コンサート IV (札幌市役所ロビー)
グスタフ・マーラーの生涯と音楽～ロマン派から 20 世紀へ～
(札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・ 7 月 23 日(土) PMF オーケストラ演奏会(札幌コンサートホール Kitara)
- ・ 7 月 24 日(日) PMF オーケストラ演奏会(札幌芸術の森・野外ステージ)
- ・ 7 月 26 日(火) PMF ファカルティ・リサイタル III (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)

- ・ 7月27日(水) PMF ファカルティ・リサイタルⅣ(札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
PMF チェンバー・プレイヤーズ演奏会(苫小牧市民会館)
- ・ 7月28日(木) PMF ファカルティ・アンサンブル演奏会Ⅱ(札幌コンサートホール Kitara)
PMF アンサンブル演奏会(モエレ沼公園 ガラスのピラミッド)
- ・ 7月29日(金) PMF チェンバー・プレイヤーズ演奏会(旭川市大雪クリスタルホール)
- ・ 7月30日(土) PMF オーケストラ演奏会(札幌コンサートホール Kitara)
- ・ 7月31日(日) ピクニックコンサート(札幌芸術の森・野外ステージ)
- ・ 8月2日(火) PMF オーケストラ演奏会(ザ・シンフォニーホール／大阪)
- ・ 8月3日(水) PMF オーケストラ演奏会(サントリーホール／東京)
- ・ 8月4日(木) NOMURA Presents PMF チャリティコンサート
(東京オペラシティ・コンサートホール)

4 音楽普及事業

一般の人々が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供することで、クラシック音楽の普及を図る。オープンリハーサル、青少年のための音楽会、修了生による各地での演奏会等従来からの事業を引き続き実施するほか、教育セミナーについては従来の内容を大きく見直し、内容の充実と受講者増を目指す。

(1) オープンリハーサル

リハーサルやゲネプロ(本番前の全体練習)を一般に公開する。定員は1回につき100名で、事前登録制による全期間コース、プログラム別のコースのほか、1日のリハーサルごとに当日申込も可能とする。

(2) PMF 教育セミナー

・ 受講対象者の拡大

従来、音楽教育者、学生等に限定していた受講対象者を拡大し、年齢や職業に関わらず実生活の中で音楽を学び知る意欲を持つ人々も対象とする。

・ コース設定の見直し

従来の2～3日間のコース1回のみを設定を見直し、1日単位の別々のプログラムを4回設定し、受講の機会と選択性を拡大する。

・ プログラム内容の見直し

従来、吹奏楽指導の見学や音楽講座、リハーサル見学などの教育的な内容と主体としてきたが、これを見直し、PMFアーティストの音楽に関わる体験などのトークやミニコンサート、ディスカッションなどを設け、このセミナーを通して、音楽に触れて感じたことを確認して生かしていくことのできる機会を設ける。

(3) PMF トークセッション

PMF の紹介、演奏会に関する最新情報、クラシック音楽の現状など PMF に関わりが深い事柄を中心に取り上げるセミナー。市民にクラシック音楽をわかりやすく伝え、音楽の普及を図るとともに、PMF を効果的に周知するための機会とする。修了生のミニトーク、コンサートも併せて、修了生の活躍の PR も目的とする。

(4) PMF 青少年のための音楽会

例年どおり、ピクニックコンサート(7 月 31 日実施予定)において実施する。札幌交響楽団音楽監督の尾高忠明氏によるトークと、同楽団による演奏を提供する。

(5) PMF チェンバー・プレイヤーズ演奏会

国内で活躍中の PMF 修了生=PMF チェンバー・プレイヤーズを中心として、ピクニックコンサートでは地元の HBC ジュニアオーケストラとの共演やアウトリーチコンサートへの出演、その他年間を通して演奏会を行う。札幌市内においてはショッピングセンター、駅構内広場等の公共の場で広く一般市民に公開する形で定期的に演奏会を行うほか、札幌市内及び近郊の各地で、PMF2011 開催前の PR を兼ねた演奏会を行う。また、演奏だけでなく修了生の経験談や音楽に関わるトークなどを織り交ぜ、PMF とクラシック音楽の魅力を併せて伝える。